

かわらだ ひろこ 川原田弘子 ニュース

2016年11月発行



神戸港でのフォークリフト技能大会を見学してきました。神戸港では、3000台のフォークリフトが荷役を担っています。



～神戸港・開港150年へ～

決算特別委員会では、みなと総局、住宅都市局の決算について質疑をしました。みなと総局については、下記の質疑を行いました。

- コンテナ船等基幹航路の維持・強化策について
- クルーズ船の更なる誘致とクルーズ人口の拡大について
- 開港150年記念行事について
- 海上アクセス（神戸ベイシャトル）について

神戸港は、来年、開港150年を控え、下記のように色々な行事なども予定されているところです。神戸港と共に発展してきた神戸市ですが、私たち市民には、ちょっと遠い存在でもあります。

そこで、質問の背景でもある神戸港について、調べてみました。市民みんなで神戸港150年のお誕生日をお祝いしましょう！！

①神戸開港150年記念事業スケジュール

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
シーズンモチベーション (催事・セール)	正月 ▼ 新春	バレンタイン ▼	ホワイトデー ▼		子供の日の日 ▼ GW	父の日 ▼		盆休み ▼ 夏休み	敬老の日 ▼	ハロウィン ▼		クリスマス ▼ クリスマス
	オープニング (1～2月)		春の祭典 (3～5月)			夏の祭典 (6～8月)			秋の祭典 (9～12月)			
平成29年 神戸開港 150年記念事業 イベント 【主催催事】 【誘致催事】	150 PORT OF KURE みなと みん なと KOBE ブランドコントロール下ですべての事業を発信 国際会議 開港150年記念 クイーンエリザベス 神戸発着クルーズ 記念式典 神戸まつり (特別版) 海フェスタ 帆船フェスタ 開港150年記念 みなと神戸海上花火大会 秋の食イベント  150 PORT OF KURE 時み神 神戸開港150年											



帆船フェスティバル
過去最大10隻目指して誘致中

- 神戸港と神戸文化の企画展「神戸 みなと 時空」
H29年1月～12月
デザインクリエイティブセンター神戸「KIITO」
- 1 日本玩具博物館とのコラボ
 - 2 陳舜臣と神戸ミステリー館
 - 3 鈴木商店記念館



神戸港の歴史

神戸港は、「務古水門（むこのみなと）」「大輪田の泊（おおわだのとまり）」と呼ばれていた古くから中国大陆や朝鮮半島の港と交流していました。

また、平安時代（794年から1192年）には、「経ヶ島」の築造（1174年）を行うなど、国際貿易の拠点として発展してきました。（日宋貿易）

室町時代（1336年から1573年）、江戸時代（1603年から1868年）には、「兵庫の津」と呼ばれ、鎖国政策下の江戸時代には、国内交通の要衝として、重要な役割を果たしました。そして、慶応3年（1868年）の開港後は、人・物・情報が行き交う拠点として、また、国際貿易港として常に最新の設備を整備し、世界を代表する港に発展しました。

②神戸港・大阪港の合併について



日本の港湾は、神戸港を始め、自治体が整備してきましたが、特にアジア諸国では、国を挙げて港湾整備が行われてきており、コンテナ船の大型化などに対処したハブ港を目指していくためには、国の関与が不可欠な状況でした。そこで国際コンテナ戦略港湾の事業が立ち上げられ、神戸港は大阪港と協力し、H22年に国の国際コンテナ戦略港湾に阪神港として選定されました。以降、それぞれの埠頭株式会社の設立の後、様々な協議を重ねられ、合併に至っています。

港湾施設を保有し管理運営する神戸・大阪の各埠頭株式会社と、国も出資を行い、神戸・大阪で共同して港湾事業の経営を行う「阪神国際港湾株式会社」が設立され、上下分離方式で港湾運営が行われるに至っています。

国は、筆頭株主となった他、港湾設備の整備や集貨事業への助成など多方面で阪神港を支援しています。

阪神国際港湾株式会社の背景

- H22年8月・・・阪神港が「国際コンテナ戦略港湾」に選定される
- H22年10月・・・神戸港埠頭株式会社を設立
- H23年4月・・・（財）神戸港埠頭公社が解散し、神戸港埠頭株式会社に事業継承
- H24年10月・・・神戸港埠頭株式会社が「港湾法」に基づく特例港湾運営会社に指定される
- H26年7月・・・「改正港湾法」が施行され、港湾運営会社への国の出資が可能になる
- H26年10月・・・大阪港及び神戸港の特例港湾運営会社が経営統合し、「阪神国際港湾株式会社」設立
- H26年11月・・・「阪神国際港湾株式会社」が港湾運営会社として指定される

阪神国際港湾株式会社の株主について

出資者	株式数	出資額	出資比率
国土交通大臣	10000株	500百万円	34.2%
大阪市	9000株	450百万円	30.8%
神戸市	9000株	450百万円	30.8%
三井住友銀行	1200株	40百万円	2.7%
みずほ銀行	200株	10百万円	0.7%
三菱東京UFJ銀行	200株	10百万円	0.7%

